

令和4年度進行管理・評価シート

下野市 歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和5年3月20日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 下野薬師寺跡保存整備事業	3
2 史跡等公有化事業	4
3 歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業	5
4 学びの場活用事業	6
5 天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	7
6 歴史文化発信事業	8
7 ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)	9
8 民俗芸能・伝統行事継承事業	10
9 伝統文化体験事業	11
10 歴史学習事業	12
11 干瓢生産・消費推進事業	13
12 干瓢生産道具保存活用事業	14
13 天平の丘公園再整備事業	15
14 薬師寺周辺駐車場等整備事業	16
15 下野薬師寺いにしへの道整備事業	17
16 情報案内・説明板設置事業	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理・整備に関する取組み	19
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み	20
3 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 下野市の文化財保存活用計画 国が認定、事業加速	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)における文化財観覧ガイド養成講座の受講者数	23
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24

評価軸1-1
組織体制

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
歴史的風致維持向上計画の推進体制は、都市計画課と文化財課を中心とし、関係各課と連携を図りながら、下野市歴史的風致維持協議会において計画推進や計画変更、効果的かつ円滑な事業実施に向けた協議を行い、事業の推進を図る。
具体的な事業や取組みの実施に関しては、国や栃木県の指導を仰ぎながら、庁内各関係課と連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議のうえ実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

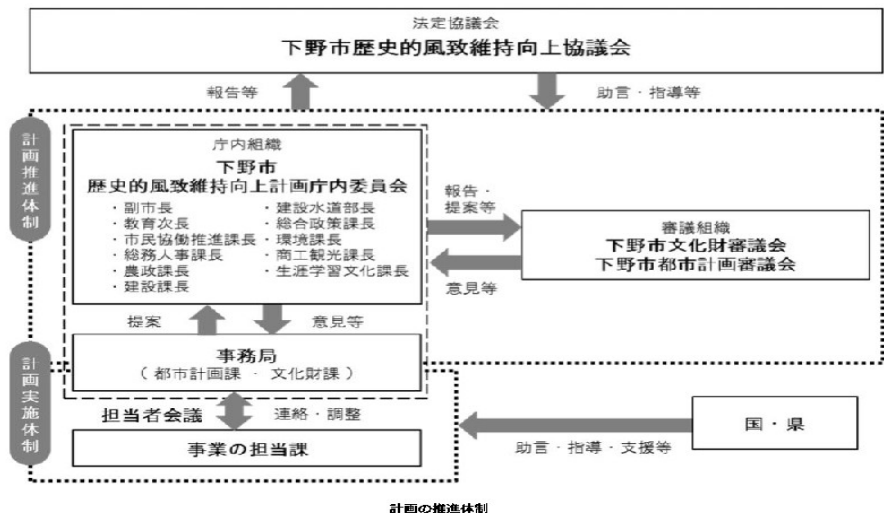
第5回(令和4年度)歴史的風致維持向上協議会を令和5年3月27日に開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各種事業を円滑に推進していくため、各種補助事業の積極的な活用を図った。引き続き国庫補助の積極的な活用を推進するとともに、歴史まちづくりに関する情報を発信し、市民の意識向上を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



第5回(令和4年度)下野市歴史的風致維持向上協議会の開催
令和5年3月27日(月)
議題 (1)下野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について



評価軸2-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1) 都市計画との連携 (2) 景観施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

歴史的風致維持向上計画に位置付けられている重点区域については、市街化調整区域となっているため、都市計画及び建築の制度や誘導施策と連携しながら、両重点区域の更なる歴史的風致の維持向上を図る。栃木県の屋外広告物条例及び市の景観条例に基づき歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国の指定文化財である下野薬師寺跡及び国分寺跡、国分寺尼寺跡と緑地環境地域の国分寺跡周辺については、栃木県屋外広告物条例により、屋外広告物の掲示禁止地域に定められている。また、令和2年度から令和3年度にかけて策定した景観計画において、市全域を景観形成区域とし、重点区域を景観形成重点区域の候補地とした。令和4年度から市景観条例に基づく届出受付を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応

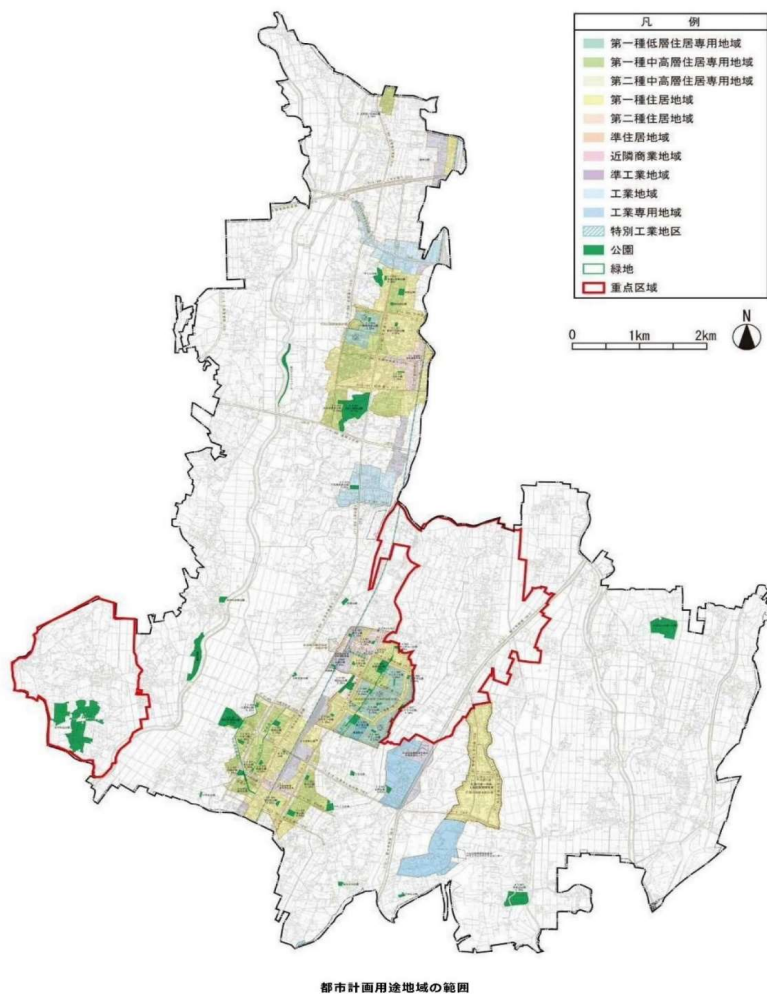
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない


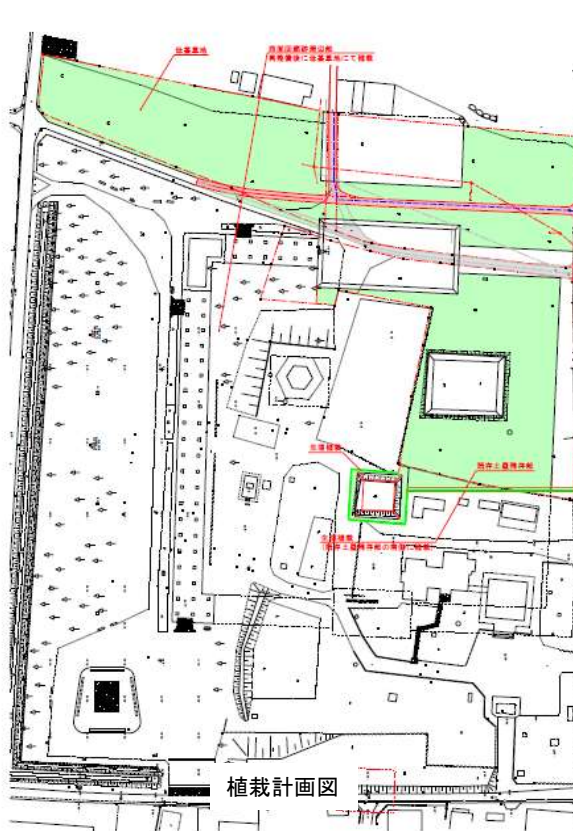
景観計画で定めた景観形成重点区域の指定方針のもと、重点区域における地域住民等の景観形成に対する意識の熟度に応じ、景観形成重点区域化を検討する。

状況を示す写真や資料等

第4章 重点区域の位置及び範囲



都市計画用途地域の範囲

評価軸3-1		評価対象年度	令和4年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		現在の状況	
下野薬師寺跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	発掘調査の結果に基づき、当時の伽藍の基壇の復元等を行うとともに、既整備範囲についても再整備事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下野薬師寺跡第3期保存整備基本計画に基づき基本設計を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備事業に当たっては現薬師寺との調整が必要となるため、十分に協議を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>造成計画図</p> <p>図6 造成範囲図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>植栽計画図</p> <p>図13 生垣植栽範囲図</p> </div> </div>			

評価軸3-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
史跡等公有化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和6年度

支援事業名 史跡等購入費補助金

計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡の推定東門周辺地区の整備事業を実施するため、土地の公有化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宅地部分(4736.2㎡)についての公有化を行った。建物については地下の遺構への影響を考慮し基礎の撤去は行わなかった。

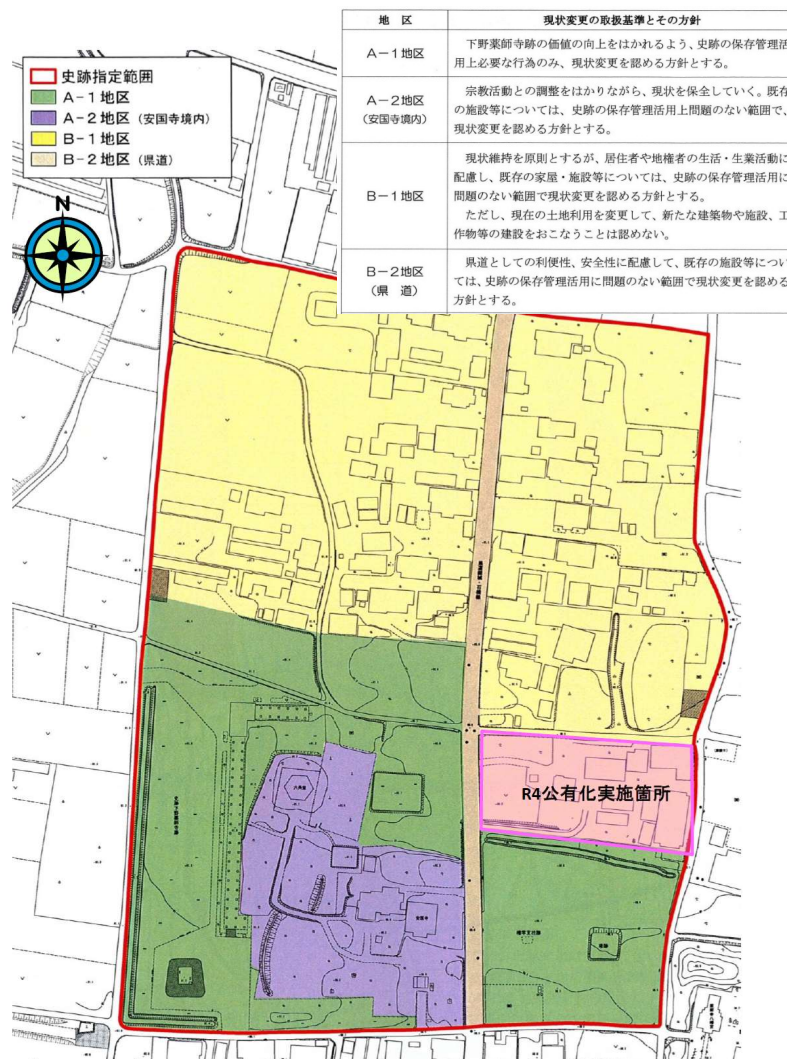
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

史跡指定地内で無住の住宅等があるため、公有化を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸3-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 これまでに十分に調査されていない歴史的建造物について、総合的に把握するとともに調査を実施する。また、調査等に基づき歴史的風致形成建造物を指定し、保存を図るために修理等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に所在する歴史的建造物2棟(吉田農協倉庫、国分寺薬師堂)について小山工業高等専門学校と協力し詳細調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

調査済みの地区以外にも歴史的建造物が残る地区があり、継続した作業が必要である。また、歴史的風致形成建造物への指定等についての基準を設けたうえで、今後指定を行っていく。

状況を示す写真や資料等



吉田農協倉庫の調査



国分寺薬師堂の調査

評価軸3-4	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和4年度
項目	現在の状況
学びの場活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国分寺西小学校(平成31(2019)年4月1日に国分寺小学校に再編)の校舎の一部を利用して、干瓢生産道具を主とした農業に関する民俗資料や埋蔵文化財、古文書等の歴史資料を収集・保管・展示する施設として整備し、これらの資料を使用して、歴史と文化を学び、体験する施設として活用する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
事業見直しに向けて関係各課との協議を行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	都市計画法に基づく事務手続きも含め、整備手法等について再検討を行う。
状況を示す写真や資料等	

評価軸3-5	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和4年度
項目	現在の状況
天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和7年度
支援事業名	都市再生整備計画事業(R3より)・市単独事業
計画に記載している内容	天平の丘公園については、春の花まつり期間、下野国分寺跡については史跡愛好家の来訪がそれぞれ集客のメインになっている。 天平の丘公園再整備により通年で来園者を見込むが、更なる来園者の増加と、史跡地の周知及び積極的な活用を図るため、様々なイベントを実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
新型コロナウイルスの影響により開催できなかったイベントもあったが、夏のイベント「しもつけ燈桜会」を3年ぶりに開催し、2日間延べ1万人の来場があった。また、花まつり用照明支柱の改修を行い、令和5年3月に4年ぶり開催となる「天平の花まつり」に向け、準備を行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「しもつけ燈桜会」については、社会資本整備総合交付金を活用し、令和5年度に事業拡大を行い、更なる来園者の増加を図る。その他イベントにおいても、ブラッシュアップや新たなイベントの創出を併せて検討していく。
状況を示す写真や資料等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
しもつけ燈桜会の様子	

評価軸3-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史文化発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市の歴史的風致を紹介するパンフレットの作成を行うほか、VR等を活用した歴史的風致形成建造物等の復元等を行い公開し、児童・生徒や来訪者に対し市の歴史的風致の魅力の発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまでのVR等を活用した情報発信の他、本市の歴史的な特性である「東の飛鳥」をまちづくりのブランドとして活用し、歴史文化の情報発信を積極的に行った。下野薬師寺跡でのエゴマ灯明の会やシールラリー、土器づくりワークショップ等を実施し、「東の飛鳥」下野市としての認知度の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

「東の飛鳥」としての情報発信のほか、学校との連携も積極的に進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



「東の飛鳥」ロゴ



エゴマ灯明の会



シールラリーチラシ



東の飛鳥パークファッションコンテスト

評価軸3-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症の影響により養成講座は開催できなかったが、しもつけ風土記の丘資料館での体験講座をガイドの協力を得て実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	養成講座を実施できていないことから、ガイドの資質向上等を図るため、次年度以降は積極的に講座等を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等



拓本エコバッグづくりへの協力



ミニチュア文化財置物づくりへの協力

評価軸3-8	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和4年度
項目	現在の状況
民俗芸能・伝統行事継承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等の基礎調査を実施することにより行事等の把握を行う。また、保存・継承のため、専門的な知見に基づき、記録や道具等の整備、後継者育成、情報発信等の支援を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祭礼に関する聞き取り調査をすることができなかった。また、祭礼自体も感染症の影響により実施されなかったため、記録を作成することができなかった。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭礼や行事に関する知識や情報の知見者の高齢化が進んでいるため、早期の記録や聞き取り作業が必要である。また、行事等の再開についての情報収集を行う必要もある。
状況を示す写真や資料等	

評価軸3-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
		伝統文化体験事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等を継承するために、将来の担い手となる小・中学生等に対し、ワラデッポウ作りやお囃子、太々神楽等の体験事業を行う。 また、次代を担う子どもたちに対して、地方公共団体や伝統文化等の指導者等が一体となって、地域ぐるみで民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化等を体験・習得できる機会を新たに設けることにより、子どもたちの体験機会を拡充し、併せて地域文化・地域人材の掘り起こしを図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・伝統文化親子教室を開催した。(茶道・華道・和装礼法・和琴・お囃子) 教室の成果の発表の場として、文化noフェスティバルを開催した。(会場:市役所3階会議室) (来場者: H30 162名、R1 176名、R2 126名、R3 150名、R4 180名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施の効果を引き続き定量的に評価する。また、子供達も楽しく参加しているので事業を継続できるよう、担い手へのサポート等も継続して実施する。		

状況を示す写真や資料等



伝統文化親子教室(茶道)



伝統文化親子教室(茶道)



伝統文化親子教室(お琴)



伝統文化親子教室(生け花)

事業への参加者の推移	
H30:	延べ参加者 90人
R1:	" 98人
R2:	" 70人
R3:	" 48人
R4:	" 60人

評価軸3-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
歴史学習事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 将来、歴史的風致の担い手となる小・中学生に対する歴史等への学習支援を強化し、学校や教育委員会、博物館が連携した歴史学習事業の展開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

資料館での学校見学が39校で1,773人、市内の小学校への出前授業(干瓢むき体験3校・下野市の歴史講座1校)で実施した。また、下野薬師寺歴史館において、近隣の小学校との連携した体験事業を実施するとともに、下野国分寺跡でも小・中学校と連携した事業を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

継続して実施している事業であるが、子どもたちの興味関心を深められるよう、常に新たな取り組みを検討していく。

状況を示す写真や資料等



出前授業(干瓢むき)
古山小学校(7/14)



小学生のふるさと学習
エゴマ定植(6/23)



小学生の里山活動
下野国分寺跡(12/14)



小学生の資料館見学

評価軸3-11	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和4年度
項目	現在の状況
干瓢生産・消費推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	干瓢生産について、良質苗の提供や生産機械や施設整備への支援を行い、減少傾向にある干瓢生産の維持拡大を図っていく。 また、干瓢の消費については、毎年開催しているかんぴょうまつりや干瓢料理教室などの魅力発信に係るイベント等を開催し、消費拡大につなげていく。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
減少傾向にある干瓢生産量の維持拡大及び消費拡大を図るため、下記の支援等を行った。 ■干瓢苗・種子購入への支援: 個人生産者やJAうつのみや、JAおやまの生産部会を通し、苗・種子購入費に対し1/2補助を行った。 ■生産機械、施設整備の支援: 干瓢乾燥用ヒーター、乾燥用パイプハウス、干瓢剥き機等の整備を行った生産者に対し1/2補助を行った。 ■消費拡大への取り組み: ゆうがおパークにおいて干瓢を使った料理の試食提供等イベントを実施し、干瓢の魅力発信を図った。また、干瓢PR用のぼり旗を市内の干瓢取扱店10店舗に配布した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス禍においても開催も可能な新しい形式でのイベント開催を検討していく。 干瓢生産農家への支援を継続し、干瓢の生産振興を図る。
状況を示す写真や資料等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="221 1151 759 1899" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="884 1151 1318 1899" data-label="Image"> </div> </div>	
干瓢PRのためのイベント	

評価軸3-12		評価対象年度	令和4年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		現在の状況	
干瓢生産道具保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	干瓢生産における夕顔の実を剥く道具は時代とともに変遷し、特徴的な変化があることからこれらの生産道具の調査を行い、国の登録有形文化財への登録を目指すとともに、干瓢剥き等の体験事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の小学校への出前授業(干瓢むき体験等)を市内の小学校3校で実施したほか、しもつけ風土記の丘資料館で干瓢むき体験事業を実施した(参加者22人)。また、生産道具の国の登録有形文化財への登録に向けて報告書作成のための準備作業を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	体験授業は、学校と連携し継続して事業を進める。生産道具の調査は、知見者の高齢化等により、早期の記録・聞き取り作業が必要となる。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>資料館での干瓢むき体験(7/31)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>			

評価軸3-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
天平の丘公園再整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(R3より)・市単独事業

計画に記載している内容 「天平の花まつり」の会場である天平の丘公園について、平地林の保全及び公園施設のユニバーサルデザイン化などを考慮した再整備を行う。
また、公園内を横断する市道2-22号線についても、公園施設と合わせて再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

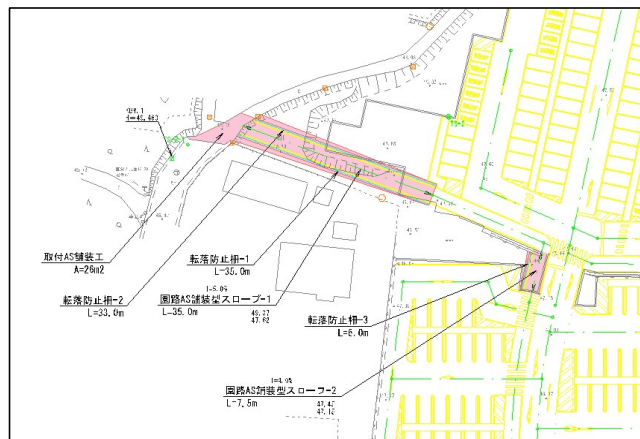
事業費の変更に伴い、都市再生整備計画の変更を行った。
令和4年度の事業として、花広場トイレ改修工事、国分寺跡連絡路等改修工事、国見山北側園路詳細設計、イベント用照明支柱改修工事、樹木管理計画・樹木マップの作成等を行った。また、平地林や桜の枯木を伐採し、歩行者が快適に公園を利用できるよう、保全・整備に努めた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

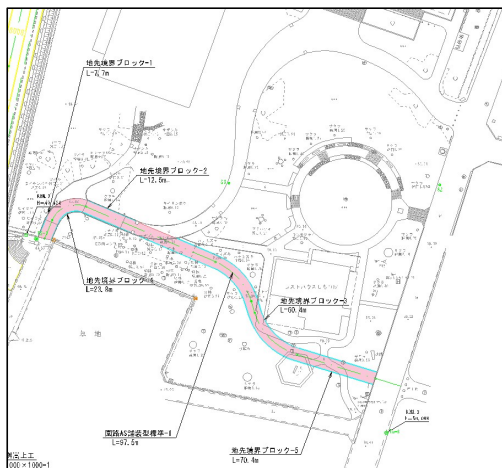
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

引き続き、関係地権者との調整及び関係部署との連携を図り、事業を円滑に進めていく。

状況を示す写真や資料等



国分寺跡連絡路



風土記の丘南側園路



樹木マップ作成

評価軸3-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
薬師寺周辺駐車場等整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 すでに整備の進んでいる道の駅周辺に用地を購入し、駐車場を増設するとともに、交流施設の充実をはかる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

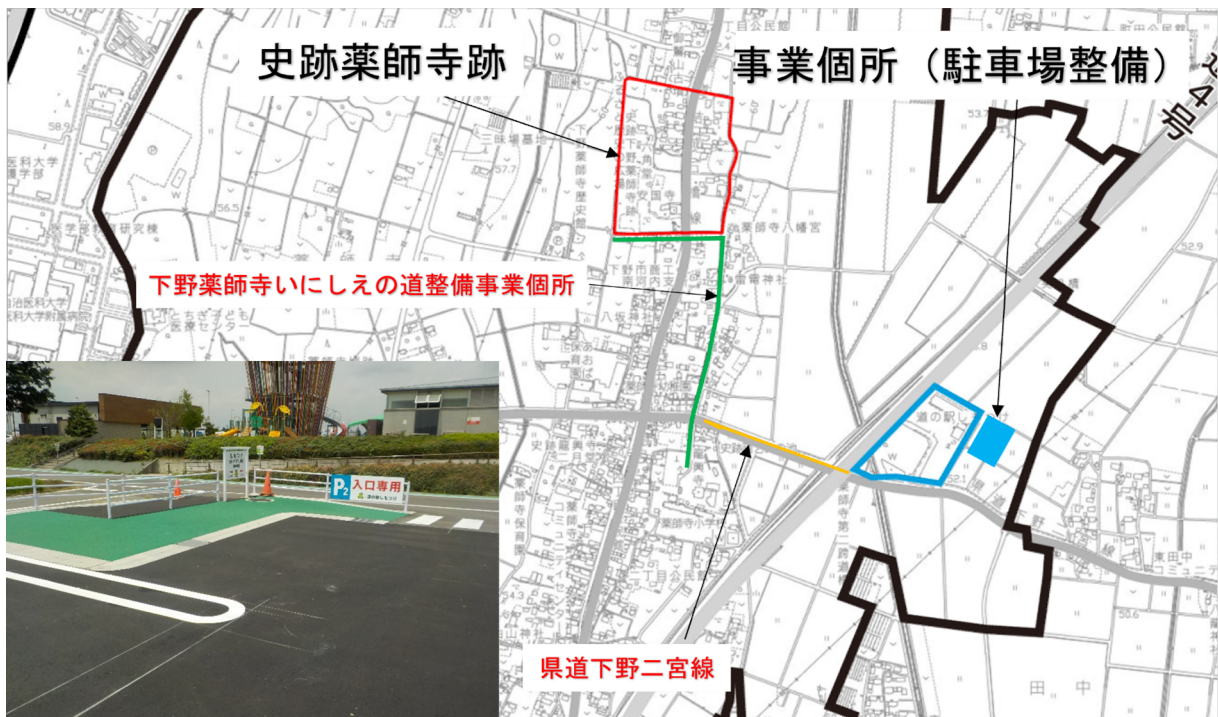
- R2 用地買収、造成工事
- R3 照明電気工事
- R4 舗装工事 整備完了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

道の駅から下野薬師寺いにしへの道整備事業地までは、県道下野二宮線を利用することを想定しているが、歩道が片側しかないため今後歩道の整備について検討を行う。また、駐車場から史跡地への来訪者数の増加を図るため、道の駅内に案内サイン等の設置を進めていく等、情報発信を強化していきたい。

状況を示す写真や資料等



道の駅と増設駐車場

評価軸3-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
下野薬師寺いにしへの道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和8年度

支援事業名 街なみ環境整備事業

計画に記載している内容 重点区域の核となる重要な文化財である下野薬師寺跡周辺に所在する下野薬師寺歴史館、薬師寺(旧安国寺)、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶルートである市道4101号線、4100号線、4131号線、及び7009号線において、安全な通行幅員の確保による周遊空間の創出又は歴情的情緒が体感できるような道路への美化による修景を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度から文化財課及び都市計画課と連携し事業手法の検討を進めてきた。令和4年度に国土交通省住宅局所管の「街なみ環境整備事業」の新規採択を受け、「薬師寺地区街なみ協議会」を発足した。「下野市薬師寺地区街なみ環境整備構想」を早期に策定し、令和8年度の事業完了を目指し整備の進捗を図る。

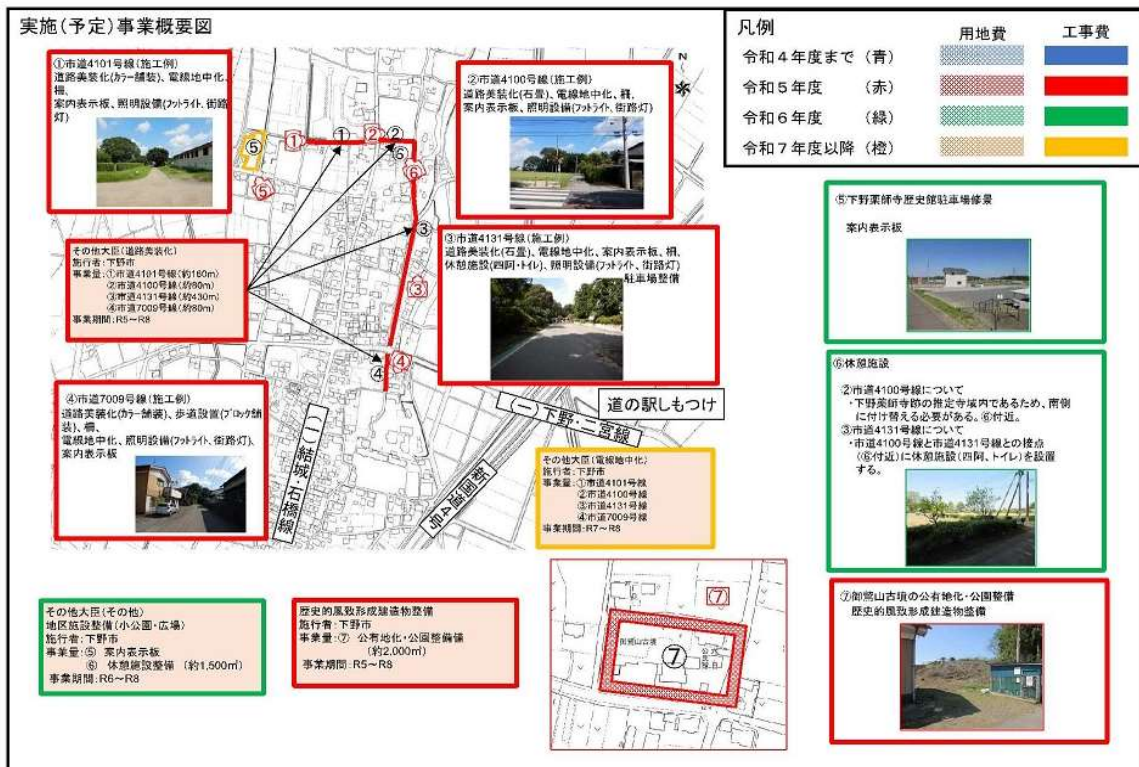
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

【街なみ環境整備事業スケジュール】
 令和2年度～令和3年度：栃木県建築課との協議調整
 令和4年度：「薬師寺地区街なみ環境整備事業」新規採択、「薬師寺地区街なみ協議会」発足、事業説明会、「下野市薬師寺地区街なみ環境整備構想」策定
 令和5年度～令和6年度：測量設計(補助対象)
 令和7年度～令和8年度：美装化工事(補助対象)
 【課題】
 ・史跡や小公園の整備との連携が必要である。
 ・無電柱化については、令和4年度栃木県無電柱化推進協議会ワーキンググループにおいて不都合となったため未実施となる。いにしへの道だけでなく県道を含めた検討が必要である。

状況を示す写真や資料等



事業概要：国庫補助資料抜粋

評価軸3-16		評価対象年度	令和4年度
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		現在の状況	
情報案内・説明板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の説明板や案内板については、旧町時代に設置したものも多く、設置した部署により表示内容やデザイン等でかなりの違いが生じて統一感に欠けるため、令和3年度に策定した景観計画により統一した表示内容やデザイン等を検討し、景観計画に基づき設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下野市景観計画に基づき、説明版や案内板の統一を進める地区について検討した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度に策定した景観計画との整合性を図りながら、下野市の景観及び歴史的風致にあった統一感のある案内板や説明板のデザイン案、サインのあり方等を検討し、整備を実施する。		
状況を示す写真や資料等			
			
市内における説明板・誘導板の現状写真			

評価軸4-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の修理・整備に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理にあたっては、文化財の価値を維持もしくは復旧することを目的とし、関係機関や専門家と連携して行う。修理等に要する所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。史跡整備については、国の史跡である下野薬師寺跡の整備事業を進めるとともに下野国分寺跡と連携した取り組みを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下野薬師寺跡については、第3期保存整備基本計画に基づき、整備基本設計を実施した。また、歴史的風致形成建造物候補である御鷲山古墳については、歴史的風致形成建造物に指定したうえ、街なみ環境整備事業を活用して整備を行うこととした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	最新の発掘調査成果などの情報を常に参照することにより、必要に応じ整備基本計画や整備事業計画を見直し、適時適切な事業推進を図る。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸4-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	しもつけ風土記の丘資料館を下野市における埋蔵文化財の保存・収蔵とともに情報の発信拠点として位置づけるため、資料館のリニューアルを実施するとともに、下野薬師寺歴史館についても、展示等のリニューアルについて検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
しもつけ風土記の丘資料館については、常設展示室の全面改修や建物の増築等のリニューアルが完了し、令和3年5月2日にオープンすることができた。下野薬師寺歴史館については、今後のリニューアルに向けて、第3期下野薬師寺跡保存整備事業と併せて実施するよう検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内の資料館と、周辺自治体の史跡や資料館、栃木県立博物館などと連携しながら事業を実施する。		
状況を示す写真や資料等			



評価軸4-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
		文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	市内外の人々に文化財の存在や多様な価値を伝え理解を促す機会を提供するため、デジタルコンテンツの充実を図るとともに、パンフレットの作成や情報案内・説明板の設置、ローカルガイド育成等をおこなう。また、地域住民との連携や子どもたちに対する支援を強化し、民俗芸能や伝統行事の体験等を含めた歴史学習事業の展開を図る。加えて、地域住民や活動団体の発意による新たな歴史的風致の発掘・育成に対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
VR画像等については、これまでアプリケーションのみで公開していたが、より広く周知できるようYouTube用の動画も作成し、ホームページ等で公開を行った。また本市の歴史的特性である「東の飛鳥」をまちづくりのブランドとして活用し、イベント等により歴史文化の情報発信を積極的に行った。その他、郷土の偉人として下野薬師寺の建立に関わったと考えられる下毛野古麻呂の漫画を作成し、教材等として活用を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		これまで制作したデジタルコンテンツをさらに充実するとともに、インバウンド需要の増大も見越し、多言語対応の拡充を図る必要がある。	

状況を示す写真や資料等



VRによる古墳復元画像の一部(御鷲山古墳)



下野薬師寺跡でのエゴマ灯明の会



マンガ下毛野古麻呂



BNP B&G

評価軸5-1		
効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
郷土の偉人漫画本発刊「下毛野古麻呂」モデル	2022/6/18	下野新聞
とちぎ日曜歴史館 下野国「東の飛鳥」	2022/7/31	読売新聞
エゴマの実、収穫したよ 南河内小中児童が体験	2022/10/29	下野新聞
史跡西側に重要施設確認 下毛野一族邸か	2022/12/10	下野新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>下野市歴史的風致維持向上計画、下野市文化財保存活用計画が認定されたことにより、市民の意識の向上がみられ、文化財の保存会等の活動が活発となり、新聞等に取り上げられる機会が増えている。また、下野薬師寺跡に関する内容について取り上げられることが多くなっており、広く注目を集めるようになってきている。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	引き続き、歴史まちづくりへの関心や理解を深めるため、新聞社などの各メディアに対して積極的に情報発信を行う。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸6-1	
その他(効果等)	
評価対象年度	
令和4年度	
項目	
ローカルガイド育成事業(文化財観見ガイド養成事業)における文化財観見ガイド養成講座の受講者数	
計画に記載している内容	史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付	
新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度の養成講座は中止としたが、しもつけ風土記の丘資料館での体験講座(5講座)でのサポートを実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	これまで本市の文化財が多く集中する古代の内容の講座を多く実施してきたが、今後は本市の中世～近世の文化財に関する講座も実施し、幅広く深い知識をもつガイドを養成する必要がある。
状況を示す写真や資料等	
養成講座の受講者の推移 H30:講座6回 延べ受講者 304人 H31:講座5回 延べ受講者 341人 R2:新型コロナウイルス感染症対策のため中止 R3:新型コロナウイルス感染症対策のため中止 R4:新型コロナウイルス感染症対策のため中止	

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 第5回下野市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 令和5年3月27日(月)

(コメントの概要)

- ①来場者数や参加者数で効果を評価することは困難であるため、「定量的」といった言葉を用いて、事業の改善といった側面を入れると良い。
- ②下野市の歴史的情緒が体感できるような道路への美装化ということであるならば、下野市の歴史的情緒にふさわしい整備手法を検討すべき。
- ③道の駅の第2駐車場を整備したとのことだが、その効果はどのようであるか。
- ④道の駅から薬師寺周辺への移動や、薬師寺地内の史跡間の移動の仕組みについて、重点的に検討してほしい。
- ⑤天平の丘公園内、特に駐車場付近にトイレ等の便益施設を増やしてほしい。
- ⑥観光的な観点からも、市外へのPRIにあたり歴史的施設は有効である。商店や公共施設を立ち寄りスポットとし道案内や周遊マップを設置する、インターネット上の地図に目印となるポイントを落とし込む、ビジネスツールを活用しインターネット上に施設紹介文を掲載すると効果的ではないか。
- ⑦道の駅から下野薬師寺跡までの道を整備するという中で、その目的地を整備し価値を高めるということは非常に重要である。公有化を進めているということであるが、物理的な整備は今後ということか。
- ⑧吉田農協倉庫について、登録有形文化財に登録されると文化庁からの補助が期待できることから、市の側から所有者へ登録を促すことも必要ではないか。
- ⑨歴史文化発信事業について、VRを用いて歴史的建造物や歴史的文化を体感・体験したとのことだが、閲覧数が増えるような工夫はあるか。
- ⑩ガイドの養成は重要であり、その人により歴史・史跡が非常に魅力的に映るしその逆にもなりえる。無料であることが最善ではないと考えられる。
- ⑪民俗芸能・伝統行事継承事業について、正確な記録を保存するためには、高齢化の進行を考慮すると急ぐ必要がある。行事等の再開についての情報収集とあるが、具体的に新年度での再開に向けた考えはあるのか。
- ⑫下野市は干瓢の生産量日本一であるが、消費が伸びず9割以上が外国産となっているとのことだが、どうしていけばよいか。
- ⑬景観計画に基づく届出等を受ける中で、具体的にどのような指導・助言をしていたのか。
- ⑭景観条例の重点地区と歴史的風致維持向上計画の重点区域が一致しているところへ、屋外広告物条例で独自に規制をかけていくということは、やり方としては良い。地域の実情に合った条例を策定してほしい。

(今後の対応方針)

- ①ご指摘いただいた通り、記載内容を修正する。
- ②平板ブロックやカラー舗装を基本として、史跡や文化財と調和するような整備を検討していく。
- ③従来より道の駅は駐車台数の不足が課題となっていたことから、今回整備した駐車場は平日でも一定の利用がある。
- ④道の駅しもつけから周辺施設へ誘導するため、道の駅にレンタサイクルを配置したが、利用者がなく撤去した経緯がある。道の駅への主な目的が休憩や買い物であり、来客者を市内観光に誘導する方策については、十分に研究する必要がある。
- ⑤イベント以外の賑わい創出に向け整備を進めているところであり、今後集客力が上がった際には便益施設の整備について検討したい。
- ⑥観光協会で作成した観光ガイドブックには、周遊マップを掲載しており、市内外の公共施設などで設置・配布をしている。また、市内史跡等は、GoogleMapsにおいて、市ホームページ上の案内ページや個々のWEBサイトにリンクするものもある。史跡等のPRIにおいてより有効な方法の検討などを継続していく。
- ⑦現在公有化を進めている部分については、第3期整備終了後、第4期整備の中で整備を行いたいと考えている。着手時期については、第4期整備は約10年後となる見込みである。
- ⑧吉田農協倉庫については、現所有者が取得後、改修をしてすでに活用している。市としても価値の高い建造物であるため、登録有形文化財として登録して保存を進めていきたい旨所有者と話をしている。
- ⑨イベント等を活用しながら、利用者・閲覧者数の上昇を図るべく検討している。
- ⑩ガイドの養成講座等については、今後継続して実施していく。
- ⑪現在のところ具体的な検討は行っていないが、個々の行事や祭礼の数は膨大であることから、文化財保護審議会委員等関係団体から聞き取りをしていく予定である。
- ⑫干瓢については、生産工程を考慮すると、安価に提供できるものではない。干瓢生産農家の減少や機械の生産中止といった問題もあり、生産の継続は困難な状況である。そのような中で海外産に負けないよう提供していくことは難しいが、生産者と協議し、市としてできることを模索していきたい。
- ⑬一定規模の行為について、景観形成基準・景観形成ガイドラインに則り届出や事前協議を進め、緩やかな景観の誘導、良好な景観形成の推進に取り組んだ。
- ⑭景観形成重点区域の候補地では、国庫補助により事業を実施している。住民の理解や熟度を高めつつ、景観形成重点区域の指定と、地域の実情に合った屋外広告物条例の策定について検討していきたい。